



通級教室ってなんだろう？

## 「ことばとまなびの教室（言語・発達通級）」について

◎「通級による指導」とは、各教科等の授業は在籍している学校の通常の学級で行い、抱えている困難や課題の改善・克服に必要な特別の指導を行う教育の形態です。

### ことばやコミュニケーションの課題とは？

- ・ことばがはっきりしない。正しい発音ができない。
- ・年齢のわりにことばが遅い。
- ・ことばを繰り返したり、つかかかったりしてスムーズにお話しができない。
- ・耳の聞こえが悪いため、何度も聞き返したり、うまくお話しができない。
- ・友だちと楽しく遊んだり、お話ししたりできない。
- ・口蓋裂や脳性まひのためにうまくお話しができない。
- ・子ども自身が、ことばのことを気にしているようだ。



### まなびの課題とは？

- ・全般的な知的発達に遅れはないのに、聞く・話す・読む・書く・計算する又は推論する能力のうち、特定のものがどうしても身につかない。
- ・相手の感情や立場が理解できず、友達が困惑するようなことを言ったり、一方的に話したりする。
- ・物事にこだわりがあったり場面の転換ができず、周りにあわせて行動することができない。
- ・課題や学習で、注意を集中し続けることが難しい。 など

◎通級による主たる指導は、抱えている困難や課題の改善・克服を目的とする「自立活動」で、必要に応じて「各教科の補充指導」が行われます。「各教科の補充指導」とは単に教科の遅れを補充する指導ではなく、困難のもととなっている部分を探り、それらにアプローチすることを目的としています。



通級教室はどのようになっているの？

## 教室のしくみ

- 週1回程度、決まった曜日と時間に北陽小に来て指導を受けます。
- 通級している時間は遅刻・早退になりません。抜ける教科の調整、学習の補充等を担任にお願いしています。
- 専任の教員が、個別指導を行います。グループ指導を行うこともあります。
- 保護者の付き添いを原則とします。必要に応じて指導に加わっていただくこともあります。
- 教材費の負担をしていただきます。
- 在学校の学校行事への参加が優先されます。通級校の事情により指導がお休みになる場合もあります。
- 通級距離に応じて市教委から特別支援学級等通学費が支給されます。



通級教室ではどんなことを学習するの？

## 「自立活動」について

「自立活動」の学習が中心です。「自立活動」とは、個々の児童が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、心身の調和的発達の基盤を培うことを目標に取り組む学習です。内容は、**健康の保持・心理的な安定・人間関係の形成・環境の把握・身体の動き・コミュニケーションの6つの区分**で成り立っています。

- ① 基本的生活習慣の確立  
学校生活を送る上で必要な技能・態度・健康安全に関する知識などを身につける。
- ② 情緒の安定  
信頼関係をもとに、安心して過ごせるような環境の中で、情緒の安定を図る。
- ③ 自己統制力の向上  
振り返りや話し合いを通し、自分を内省したり自己をコントロールしたりする力を高める。（安心できるような言葉掛けや状況説明、目当てや約束を明示して環境を整える）
- ④ 知覚-運動機能の発達  
運動や遊び、ゲームなどを通して、視覚的記憶、空間位置の区別といった視覚-運動、音の聞き分け、聴覚的注意といった聴覚-運動機能の発達や改善を図りながら、物事の順序性や因果関係、時間や空間などの認知力を高める。
- ⑤ 運動機能の向上  
制作活動や運動を通し、目と手の協応、手指の巧緻性、バランス感覚、力のコントロール、全身・左右の協応運動など感覚-運動機能を高める。
- ⑥ 対人関係の拡大  
出来事を話す、書く、文章の理解や話し合いの学習、授業中のコミュニケーションを通し、場や状況にあった話や自分の気持ちを相手に伝える力など言語理解や表現力を高める。コミュニケーションの取り方、場面や状況にあったルールや役割、かかわり方を知り、社会的スキルを身につける。



\*一人ひとりの課題や指導のねらいに沿って、支援の方法やかかわりをその都度変えています。

- 『個別の指導計画』を作成します。作成に当たっては在籍学級の担任や保護者からの情報を元に、長期的な目標や短期的な目標、また育てたい力などを設定し評価します。
- 学校生活において問題と思われる部分が克服・改善、または軽減された時点で、終了審査会議を経て通級指導の終了となります。終了の時期は個人によって違います。また年度途中で終了となることもあります。
- 在籍校のコーディネーターや学級担任と連携をとりながら、在籍校～家庭～通級教室で一致した指導を心がけます。

◎JR線を境に、北側の地区が「北陽小ことばとまなびの教室」通級対象となります。南側の地区は、「緑小ことばの教室」か「北進小えがお教室」に通級することになります。

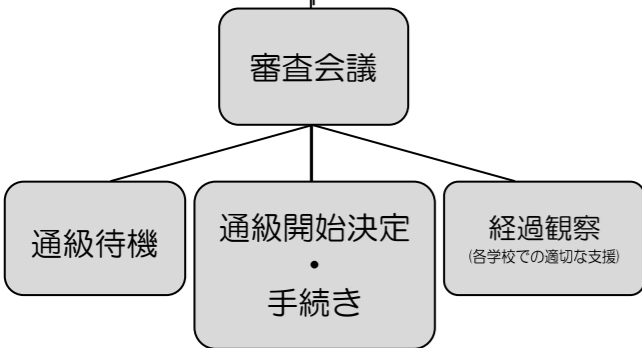
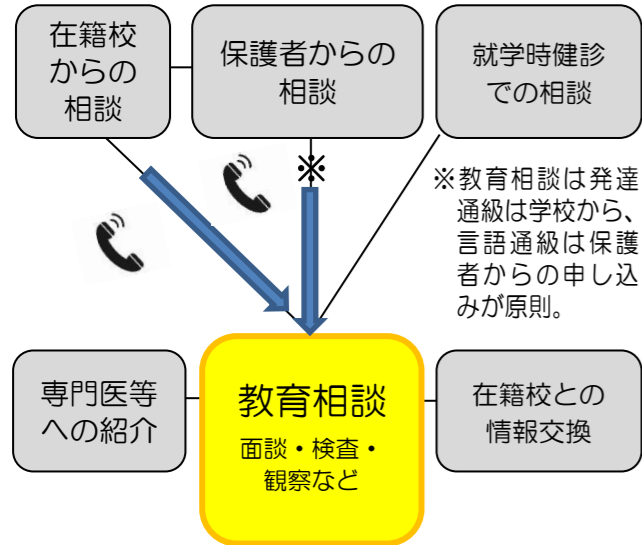
北陽小通級対象校：北陽小、みどり台小、末広小、千歳第二小、日の出小、高台小、祝梅小、東小



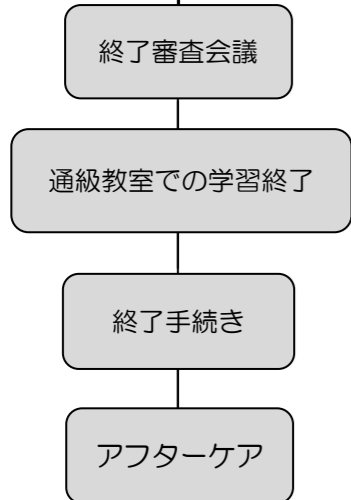
通級教室に相談するときは？

### 困難さの気づきから指導の終了まで

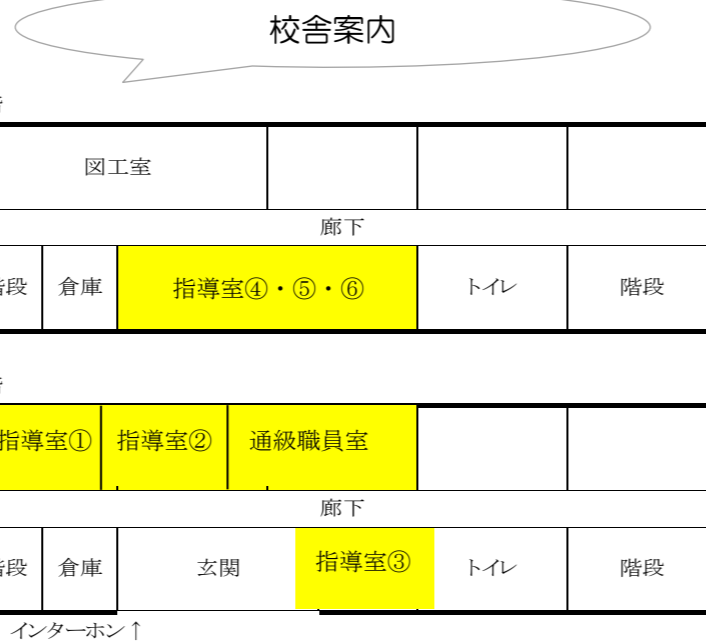
発達「児童の困り感の増大」→「学級での対応」→「学校での対応」→「特別支援コーディネーターを通して教育相談の依頼」という流れになっています。言語は保護者からの申込で相談となります。



### 通級教室での学習



	月	火	水	木	金
8:20 ～ 9:20			○		
	・教育相談 ・教室事務 ・指導研修 ・その他（学校行事など）		・指導記録整理 ・教材研究 ・学部・分掌業務		
13:30 ～ 14:30			○（主に、1・2年生）		
14:30 ～ 15:30			○（主に、3・4年生）		
15:30 ～ 16:30			○（主に、5・6年生）		
※○印は指導を行っている時間です。					



千歳市立北陽小学校

言語・発達通級指導教室

# ことばとまなびの教室



〒066-0032

北海道千歳市北陽3丁目9-1

TEL 0123-23-2811（直通）

0123-42-3441（代表）

FAX 0123-42-3442